小平市地域自立支援協議会　第３回全体会議事要録

　　令和元年１２月１６日（月）

　　健康福祉事務センター

第３・第４会議室

　　午後２時～４時

**【日　　 時】**令和元年１２月１６日（月）午後２時～４時

**【会　　場】**健康福祉事務センター 第３・第４会議室

**【参 加 者 】**１４人

**【欠　席　者】**１人

**【傍　 聴】　２**人

**【 配付資料 】**

（１）小平市地域自立支援協議会第３回全体会次第

（２）「避難行動要支援者名簿」への登録と「救急医療情報キット」の配付について 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料番号なし）

（３）意思疎通支援機器 ～私の場合～　　　　　　　　　 　（資料番号なし）

（４）令和２年度（第５期）小平市地域自立支援協議会日程（案） （資料１）

（５）小平市地域自立支援協議会　第３回幹事会開催報告　　　　（資料２）

（６）小平市地域自立支援協議会　当事者・情報部会報告　 （資料番号なし）

（７）小平市白梅学園大学連携療育事業　　　　　　　　　 （資料番号なし）

**１　開会**

会長より開会が宣言された。

**２　配布資料の確認**

　　事務局より配布資料の確認があった。

**３　「避難行動要支援者登録名簿」への登録と「救急医療情報キット」の配布について**

生活支援課計画調整担当より、資料に基づいて説明があった。

質疑応答

【М委員】基準日が９月１日と記載されているが、引っ越しをした人の更新はどうしたら良いか。

【計画調整】住民票が異動してあれば、名簿から削除している。施設に入所中など、住民票が残っている場合でも、申し出があれば削除する。

【Ｈ委員】郵送されているカテゴリー別の合計件数を教えてほしい。関係先として、相談支援事業所は何件明記されているか。

【計画調整】９月１日に発送する新規対象者は年間８００～９００件。事業所

の統計は取っていないが、基本的に書いていただいている印象。

【Ｄ委員】夫婦でともに障がいがある場合、それぞれが提出した方が良いか。

【計画調整】それぞれ提出してほしい。名簿の管理上夫婦とわかる。

**４　意思疎通支援機器　～私の場合～**

　 Ａ氏（自立生活センター・小平）より、資料に基づいて説明があった。

質疑応答

【Ｈ委員】今後、どんなアプリやタブレットが開発されれば良いと考えているか。

【Ａ氏】トーキングアプリになって、ミュート機能がないことが一番の悩み。入力音が鳴ることが難点。

【Ｊ委員】機器を試すうえで、リハビリの先生に相談した経緯はあったか。

【Ａ氏】リハビリの先生は、福祉機器のトーキングエイドしか知らなかった。

【Ｃ委員】小学校時代はどのように意思疎通を図っていたか。また、その頃の想いを聞かせてほしい。

【Ａ氏】文字盤で指差しをしていた。スピードが噛み合わないことが難点だった。

【副会長】ＣＩＬでは、トーキングエイドを使った意思疎通支援が普及しているのか。また、必要とする方が、どれ位持っているのか。

【Ａ氏】自分しか利用していないが、普及はし始めていると思う。

【Ｄ委員】私も言語障がいがあり、言いたいことを１００％伝えることが難しい。体調が悪いときは、支援の方や家族に想いを伝えているが、相手の機嫌を窺うこともある。相手の機嫌を窺うことは、相手と自分の関係や信頼に基づいていくと考えているが、どのように解決しているか。

【Ａ氏】体調が良い時に支援の方と話し合う。私が何を望むかある程度予想してほしい。

【Ｄ委員】そのような時には、どのような手段を考えるか。

【Ａ氏】とことん話し合う。２人で解決しない時には、３人で話し合う。

【Ｆ委員】とことん話し合うことがベースにあるが、それが難しいときには第３者に介入してもらい、意思疎通を図れれば良いと考えている。障がい当事者は自分にあったツールを模索していく姿勢が大切である。柔軟な形で会議に参加するためにはどうしたらいいか、引き続き事務局の人に検討してもらいたい。

５　地域生活支援拠点等の整備について（情報交換）

　　Ｌ委員より説明があった。

　　１２月１７日に、東村山市で地域生活支援拠点の整備に関する説明会がある。情報収集を行うため参加する。説明会では、要綱も公表される予定。

６　災害時の支援・課題などについて（意見交換・情報交換を中心に）

　　～自然災害時における行政、各事業所、学校等における避難体制及び支援体制等の現状（取組等）と課題について（医療的ケアを含む）～

（１）事務局より、台風１５号・１９号の被害に関する説明があった。

　　　・都内では、世田谷と府中で浸水被害があった。江東区では、荒川の氾濫予想地域に人工呼吸器ユーザーが住んでいたため、避難対応を行った。区の保健師が３名待機していたが、人工呼吸器の扱いが不慣れだったため、家族が対応した。

・台風１９号の際、小平市では避難勧告が出なかったが、夜間職員を配置し、出張所と公民館を開放した。被害の深刻さが予想されていたため、保健所の職員が、事前に人工呼吸器を利用している２０名の方に電話をして、バッテリー等の準備について話をした。台風が去った後にも安否確認を行った。引き続き対策を講じていく。

（２）Ｊ委員より報告があった

台風１９号の前後で人工呼吸器を利用している当事者の家族に連絡し、台風の準備など確認を行った。その結果、「主治医に相談し入院した」、「交通機関が止まったことでヘルパーが訪問できるか心配した」、「気圧が低下したことで痰の量が増えた」などの意見をいただいた。

（３）事務局より小平市防災マップについて説明があった。

７　令和２年度（第５期）地域自立支援協議会日程（案）等について

　　事務局より、資料１に基づき説明があった。

８　当事者ワーキングについてのまとめに関する報告

　　Ｌ委員より、資料に基づき説明があった。

９　幹事会、部会、ワーキング等開催報告

（１）幹事会第３回

Ｉ委員より、資料２に基づき説明があった。

当初予定されていた困難事例の検討は時間の都合上できなかった。１月の幹事会で改めて行う予定。

（２）相談支援ワーキング第３回

Ｋ委員より説明があった。

相談支援センターくれよん・あいの樹・当事者の親から情報提供を頂き、医療的ケア児・者に対する事例検討会を行った。

相談支援専門員からは、医療的ケア児に関わるうえで、専門性の向上を目指したいという話があった。

（３）地域部会

　　　 副会長より説明があった。

　　　 第１回目は、通所施設・入所施設のサービス管理責任者の情報交換会を行った。第２回目は、放課後等デイサービスのサービス管理責任者の情報交換会を行った。第３回目は、３０年度・３１年度の自立支援協議会の取り組むべき課題について話し合いをしたいと思っている。

（４）その他

Ｆ委員より説明があった。

小平市障害者団体連絡会の代表・世話人に、現状についてヒアリングを行った。経過等は、１０月２５日（金）の幹事会で報告した。

10　小平市白梅学園大学連携療育事業

　　　事務局より、資料に基づき説明があった。

　　「発達の気になる子どもや障がいのある子どもの保護者の交流会　みんなではなそう会」「おやこでたのしむおもちゃとあそびのひろば」

　　　ＮＨＫ　Ｅテレ（教育テレビ）すくすく子育て　子どもの発達が気になったらで紹介された。

１１　その他

1. 報告事項

無し

1. 情報提供

事務局より、説明があった。

・ＮＰＯ法人ぷるすあるはを招き、精神障がいを題材とした絵本作家の作品展とトークショーを開催する。１２月１７日（火）支援者、１２月１８日（水）～２２日（日）は一般市民を対象に行われる。

・１月２５日（土）に、東久留米のマロニエホールで、高次脳機能障がいに特化した協議会が行われる。